

報道関係各位

2018年6月1日

サイバー攻撃対策プロジェクト「WarpDrive」、本日より実証実験スタート ～ SFアニメ「攻殻機動隊」に描かれた近未来テクノロジーを現実世界に ～

株式会社構造計画研究所（本社：東京都中野区、代表取締役社長：服部正太）が参画する、国立研究開発法人情報通信研究機構（理事長：徳田英幸、以下「NICT」）による委託研究「Web 媒介型攻撃対策技術の実用化に向けた研究開発」（通称、WarpDrive^{※1}）の実証実験が本日よりスタートいたします。

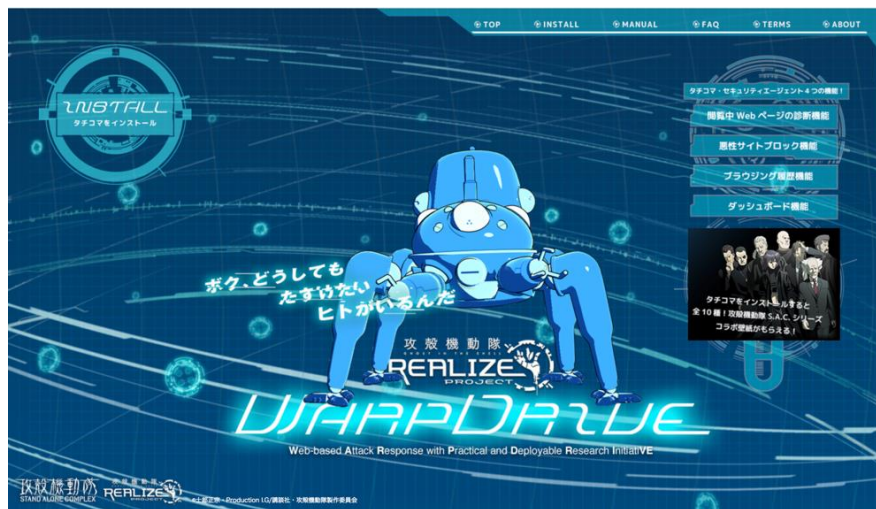


図1 WarpDrive ポータルサイト

サイバー攻撃が巧妙化し、ユーザの Web ブラウザやプラグインなどの脆弱性を悪用して強制的にマルウェア^{※2}に感染させる Web 媒介型攻撃による被害が深刻化する中、セキュリティ対策は喫緊の課題となっています。

本実証実験では、アニメ「攻殻機動隊 S.A.C.」シリーズに登場する自律走行可能な AI 戦車「タチコマ」をモチーフにした Web 媒介型攻撃対策用ソフトウェア「タチコマ・セキュリティ・エージェント（以下、「タチコマ SA」）」を、2018年6月1日から一般ユーザ向けに無償配布します。これにより、Web を媒介として拡大するサイバー攻撃の実態把握と対策を推進し、Web の安全性向上を目指します。

本実証実験で、当社は、長年培ったネットワークの監視技術や大規模データ分析技術をもとに、Web 空間に新たな悪性 Web サイトが出現するなどの異常を迅速に検知する技術を担当します。今回のプロジェクトを機に、今後さらにサイバーセキュリティ分野の技術開発を進め、安全で快適なインターネット通信の実現に向け、事業開発を推進してまいります。

- 「タチコマ SA」のご利用は WarpDrive ポータルサイトからどうぞ。 <https://warpdrive-project.jp>
- 実証実験の詳細については共同プレスリリースをご参照ください。
http://www.kke.co.jp/news/pdf/2018/NewsRelease_Joint_WarpDrive.pdf

※1：WarpDrive：Web-based Attack Response with Practical and Deployable Research Initiative

※2：コンピュータウイルスやワーム、ボットなどの不正プログラムの総称

■ 参考情報

[実証実験体制]

- 株式会社 KDDI 総合研究所：実証実験の全体統括、大規模分析基盤の開発
- 株式会社セキュアブレイン：タチコマ SA 開発
- 国立大学法人横浜国立大学：Web に関連する脅威分析
- 国立大学法人神戸大学：機械学習による攻撃検知手法の検討
- 株式会社構造計画研究所：大規模分析基盤における攻撃検知手法の検討
- 国立大学法人金沢大学：プライバシーに関する検討
- 国立大学法人岡山大学：モバイル環境における攻撃観測方法の検討
- 国立研究開発法人情報通信研究機構：実証実験および可視化デザインの監修

■ 会社情報（<http://www.kke.co.jp>）

構造計画研究所は、社会と共に創りあげていきたい未来像（Thought）として、「Innovating for a Wise Future」を掲げております。「大学、研究機関と実業界をブリッジする Professional Design & Engineering Firm」を標榜する当社は、今後も工学知をベースにした有用な技術を活用し、社会の諸問題の解決に挑むことで、より賢慮に満ちた未来社会を創造してまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先

<技術関連窓口> 株式会社構造計画研究所 事業開発部 セキュリティビジネス室

TEL:03-5318-3092 e-mail: cybersecurity@kke.co.jp

<報道メディア関係窓口> 株式会社構造計画研究所 広報・海外支援室

TEL:03-5342-1040 e-mail: kke-pr@kke.co.jp

※ 構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。